

いつやってくるか分からない。被害を防ぐために

災害への備えはできていますか？

大雨、洪水、火事、地震…。災害はいつやってくるか分かりません。被害を最小限にとどめるために平常時は災害に備え、災害時には自らの身の安全を守るよう行動することが大切です。

問い合わせ先 防災交通課 ☎0968(25)7203

5段階の警戒レベルで防災情報を提供

◆警戒レベルで避難行動の判断を分かりやすく

災害時、避難行動をとりやすいよう、新たに5段階の警戒レベルを用いて防災情報を提供します。市が発令する防災情報は、市ホームページのほか、テレビやラジオ、気象庁や気象予報会社のホームページなどで確認できます。正確な情報入手しましょう。きくち防災・行政ナビや防災無線でも情報をお伝えします(地震の場合は熊本地方全域の情報発信)。

集中豪雨は夜間に多く発生します。大雨の予報がある場合は、土砂災害や浸水の危険個所に住んでいる人は特に注意し、明るいうちに避難しましょう。

◆気象情報や雨量、河川水位などの情報を提供するホームページ



気象庁
<https://www.jma.go.jp>



熊本県防災情報
<http://cyber.pref.kumamoto.jp/bousai/>



川の防災情報
<https://www.river.go.jp>



菊池川河川事務所
<http://www.qsr.mlit.go.jp/kikuti/>

※ QRコードの読み取りがうまくできない時は、左右のQRコードを隠して再度読み取ってください。

危険度	警戒レベル	種類	取るべき行動	
↑ 高	警戒レベル5	災害発生情報	命を守る行動	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。
	警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	避難	極めて危険です。指定緊急避難場所か安全な場所に避難してください。
	警戒レベル3	高齢者等避難開始 避難準備 自主避難呼び掛け	高齢者などは避難 他の住民は避難準備	避難に時間がかかる要配慮者(高齢者、障がい者など)は避難してください。
	警戒レベル2	(気象庁の 注意報など)	避難行動の確認	避難に備え、避難場所や避難経路など自らの避難行動を確認してください。
	警戒レベル1		心構えを高める	防災気象情報に注意するなど、災害への心構えを高めてください。

普段からできること

◆家族防災会議

菊池市防災マップなどを利用し、災害時の危険箇所や避難場所、避難ルート、連絡方法などを家族や近隣住民と話し合っておきましょう。土砂災害危険箇所や浸水想定区域でない場所であっても、災害が発生しないということではありません。過去にも、流木などで橋がせき止められたことによる川の氾濫や、民有地間の石垣が崩壊し、被害が発生した事例があります。

◆家の周りの安全点検

側溝や排水溝は掃除して水はけを良くしておきましょう。

◆避難に際しての注意事項

避難場所は市が開設している場所だけではなく、公民館や親戚宅、友人宅なども避難場所になることがあります。

ます(安全が確保されている場合に限り)。特に危険箇所に住んでいる人は、日ごろから最寄りの安全な場所を確認しておきましょう。

道路が冠水して外出が危険な場合、建物の2階など安全な場所に避難してください(垂直避難)。崖崩れなどの心配がある場合は、崖から一番離れた2階の部屋に避難してください。

避難所や防災マップも確認できる

きくち防災・行政ナビ



防災無線や個別受信機で情報を確認できます。火災情報や市からのお知らせも随時配信している無料アプリです。

